

ふくしま オーガニック通信



～オーガニック・ランドふくしまをつくろう～



R3-1

令和3年6月18日

福島県農業総合センター

有機農業推進室

福島県郡山市日和田町高倉

字下中道 116 番地

TEL 024(958)1711 FAX 024(958)1730

Email : yuuki_otasuke_soudan@pref.fukushima.lg.jp

「有機農業推進体制が新しくなりました」

農業総合センター 有機農業推進室

令和3年度の新たな有機農業推進体制をお知らせします。

福島県の持続可能な農業並びに循環型社会の実現を目的に有機農業の円滑な推進を図るため、今年度より中通り・会津・浜通りの各普及部、普及所に「有機農業推進チーム」を設置しました。

今後より一層力を入れて、福島県の有機農業を推進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

所 属	職 名	氏 名	担 当
有機農業推進室	(新) 室 長	岡 崎 徹 哉	総 括
	主 任 主 査	佐 藤 弘 一	中通り普及 (作物)
	(新) 主 任 研 究 員	大 越 聡	試 験 研 究
	副 主 査	齋 藤 成 一 郎	中通り普及 (野菜)
会津農林事務所	(新) 主 査	松 本 靖	会 津 普 及
相双農林事務所 双葉農業普及所	主 任 主 査	高 津 顕 一	浜 通 り 普 及
環境保全農業課	主 任 主 査	半 澤 勝 拓	循 環 型 農 業 担 当 主 任
	(新) 主 査	野 田 智 美	有 機 栽 培

現地技術実証ほ紹介

「現地技術実証ほを県内に6ヶ所設置しました」

農業総合センター 有機農業推進室

各地域の実態を踏まえた有機農業に関する応用的技術の実証と確立を図るため、現地技術実証ほを県内に6ヶ所設置しました。

【令和3年度 現地技術実証ほ一覧】

市 町 村	生産者名	品目	実 証 ほ 内 容
二本松市	佐藤 佐市	野菜	太陽熱土壌消毒と防虫ネット等を利用した、アブラナ科野菜の有機栽培における虫害防除技術の実証
泉 崎 村	社会福祉法人 こころん	水稲	健苗育成と浅耕による冬期間の水田乾燥化ほ場における雑草抑制技術の実証
郡 山 市	石澤 智雄	水稲	二山耕起と機械除草を組み合わせた雑草防除効果と低投入型水稲栽培の生育特性の実証
喜 多 方 市	大竹 久雄	水稲	水田除草機と乳酸菌資材を組み合わせた除草、抑草効果の検討・実証
会津美里町	有限会社 自然農法 無の会	水稲	水稲新品種「福、笑い」の有機栽培における生育特性の把握
檜 葉 町	松本 孝夫	水稲	双葉郡における水稲有機栽培の実証

現地技術実証ほ紹介①

「太陽熱土壌消毒と防虫ネット等を利用した、アブラナ科野菜の有機栽培における虫害防除技術の実証」

農業総合センター 有機農業推進室

有機栽培においては、日本農林規格 別表2に掲げる農薬しか使用できないため、病害虫等を防除してアブラナ科野菜を生産することは難しいのが現状です。また、使用可能な除草剤もないため、雑草の処理が大きな問題となっています。

二本松市東和地域では、ダイコンやカブをはじめとした野菜類を有機栽培している生産者のほ場にて、雑草やキスジノムハムシ等の被害が発生しており、効果的な防除対策が必要です。

そこで、太陽熱を利用した土壌消毒と防虫ネットによるトンネル栽培を組み合わせ、地下の病害や雑草及び虫害を防ぐことを目的とした実証ほを設置し、防除効果を検証することで、今後の露地野菜類の有機栽培体系の普及に役立てることとします。

※ほ場設置場所：佐藤 佐市 氏ほ場（二本松市太田西谷）

現地技術実証ほ紹介②

「冬期間の水田乾燥化ほ場における栽植密度と機械除草を組み合わせた雑草抑制技術の実証」

農業総合センター 有機農業推進室

今年は増収を目的として、これまで実施してきた水田雑草の発生を抑制する技術「冬期間の水田ほ場乾燥」に加え、栽植密度を高めることによる水稲の初期生育量確保と機械除草の組合せによる体系的な雑草防除を組み合わせた実証ほを設置しました。

5月17日田植え後の水稲生育は良好であり、1回目の除草を5月24日、2回目の除草を6月3日に実施しました。今後、雑草発生状況を確認して、田車により3日目の除草を行う予定です。

※ほ場設置場所：社会福祉法人こころん（西白河郡泉崎村）



ビニペットスプリング除草機による除草
(6月3日撮影)



水稻の生育状況（6月7日撮影）

現地技術実証は紹介③

「二山耕起と機械除草を組み合わせた雑草防除効果と低投入型水稻栽培の生育特性の把握」

農業総合センター 有機農業推進室

二山耕起による雑草対策が成功している生産者のほ場を実証ほ場として設置し、雑草発生状況の把握と二山耕起と機械除草を組み合わせた雑草防除効果、併せて低投入型水稻栽培（前年、わらのみすき込み）の生育特性を把握していきます。

田植えは5月27日に実施し、移植後4日目においても、ほ場で水の濁りが確認されました。今後、雑草の発生状況を確認し、田車による除草を行う予定です。併せて随時調査し、水稻の生育状況を確認していきます。

※ほ場設置場所：石澤 智雄 氏ほ場（郡山市日和田町）



二山耕起したほ場の状態



5月31日の水稻とほ場の様子
(移植4日後撮影)

現地技術実証ほ紹介④

「水田除草機と乳酸菌資材を組み合わせた除草、抑草効果の検討・実証」

会津農林事務所 農業振興普及部

会津地域の水稲有機栽培は、積雪等により除草・抑草効果が期待される冬期間のほ場の乾燥化が難しいといった課題があります。

そのため、会津地域の水稲有機栽培者で取り組んでいる水田除草機と、乳酸菌資材（※）を組み合わせた除草・抑草の方法、効果を明らかにするため実証ほを設置します。

※乳酸菌資材（商品名：マイグルト）

→米由来の乳酸菌を培養増殖させたもの

※ほ場設置場所：大竹 久雄 氏ほ場

（喜多方市熱塩加納町）



喜多方地域営農対策連携会議 作物分科会の現地視察
（6月3日撮影）

現地技術実証ほ紹介⑤

「水稲新品種「福、笑い」の有機栽培における生育特性の把握」

会津農林事務所 農業振興普及部

令和3年度から一般栽培が始まった県オリジナル水稲品種「福、笑い」は、出荷基準に玄米タンパク質含量が設定され、より食味を重視した栽培が求められるブランド米です。

本年度は有機栽培の「福、笑い」の生育特性を把握するため、紙マルチ栽培について同一生産者の3ほ場において一部栽植密度を変えた区を設けて生育データ等を収集します。

※ほ場設置場所：「有限会社 自然農法無の会」管理ほ場（会津美里町）



紙マルチ田植え（5月20日撮影）

現地技術実証ほ紹介⑥

「双葉郡における水稲有機栽培の実証」

相双農林事務所 双葉農業普及所

震災前、双葉郡は有機栽培が盛んな地域でしたが、震災により休止を余儀なくされてきました。震災から10年が経過し、有機栽培の取組みも少しずつ増加し、新たに有機栽培に取り組む動きもできてきています。

今回、双葉郡の有機栽培による営農再開と震災後の新たな農産物の価値創出に向け、基幹品目水稲の有機栽培除草技術の体系化を実証します。

実証ほは松本孝夫さん（檜葉町松館地区）に依頼し、今年度が営農再開初年目であることから、営農休止前に近い栽培管理体系で作付けを行います。基肥はくず大豆施用と放射性物質吸収抑制対策のみで、できるだけ施肥量を少なくした水田での高性能水田除草機の効果を検証します。



今年から有機栽培に取り組みます。
（令和3年5月22日撮影）



除草機メーカーの指導のもと機械除草作業を確認する松本孝夫さん（令和3年5月18日撮影）

試験研究

「低投入持続型水稲有機栽培技術の実証試験を進めています」

農業総合センター 有機農業推進室

農業総合センターでは、外部から投入する資材を極力少なくし（低投入）、乗用型水田除草機による機械除草抑草技術を組み合わせて、安定した収量を確保する「低投入持続型水稲有機栽培技術」の実証を進めています。

本年は5月24日に田植えを行い、6月4日、6月14日、6月24日の3回、乗用型水田除草機「WEED MAN」による機械除草を予定しています。

農業総合センター内に設置した実証田で試験を実施しておりますので、興味がある方は是非お越し下さい。

普及コラム①

「郡山市大槻町で有機農業を営む（株）ハッピーファームを紹介します」

農業総合センター 有機農業推進室

有機農業推進室では、中通り地方の有機農業者等に対して、有機栽培技術や「環境にやさしい農業拡大推進事業」等の情報提供を行っています。この度、当室で支援している（株）ハッピーファームの安田 潤一さんが、令和3年4月23日に福島県の有機 JAS 認証を取得しました。

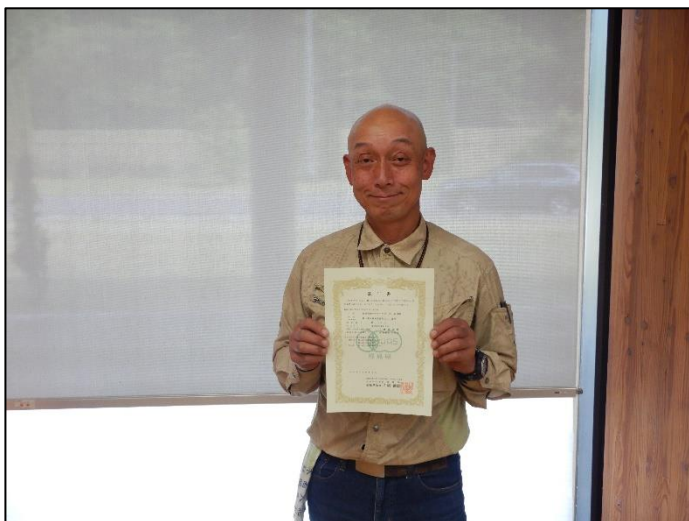
（株）ハッピーファームは、郡山市大槻町で主に「なめこ」等のキノコ類を生産しています。また、生産過程で排出される廃菌床を堆肥として利用した、農薬や化学肥料を使用しない有機農業を長年営んでおり、郡山ブランド野菜である「御前人参（ごぜんにんじん）」等の野菜類も栽培しています。

農業経営以外の取組として、小学生等を対象とした農業体験学習や、中通りの有機農家さんと共同で CSA（地域支援型農業）を行うなど、食を通じて持続可能な地域づくりをめざすことを目標とした活動を行っています。

安田さんが取り組む CSA は「あさかの CSA」と呼ばれ、代金前払い契約を結んだ消費者が、安田さんをはじめとした地域の有機農家さんが栽培した季節の有機農産物を、隔週ごとに「ステーション」とよばれる指定地域の事務所で受け取ることができます。

「あさかの CSA」に参加し、新鮮な有機農産物を購入することで、環境にも体にも良い取組をはじめてみませんか。

※CSA (Community Supported Agriculture) : 地域支援型農業とも呼ばれ、特定の消費者が、生産者と農産物の種類、生産量、価格、分配方法等について、代金前払い契約を結ぶ農業のことで、地域が支える新たな農業の一形態として注目されている。日本では少数の農家が行っている段階。



有機 JAS 認証書を交付された安田さん



有機 JAS 認証となった畑と安田さん

普及コラム②

「南会津地域水田除草機現地見学会を開催しました！」

会津農林事務所 農業振興普及部

6月11日（金）に南会津町水無地区において乗用型水田除草機「ウィードマン」の現地見学会を開催しました。

会津農林事務所有機農業担当より、除草機の概要を説明した後、農業総合センター所有の除草機により18aの水田において除草作業の実演を行いました。参加者はレーキ回転速度や深さの設定による除草効果の違い等を学びました。

南会津地域の令和2年の水稻有機栽培の取組は1.4ha、2名と少ない状況ですが、このような見学会等を通じて、中山間地域に適した有機農業を推進して参ります。



水田除草機の説明

普及コラム③

「いわき市の有機農業組織「環境保全農業研究会 農 Limit」を紹介します」

相双農林事務所 双葉農業普及所

双葉農業普及所には有機農業担当が配置され、浜通り全域の有機農業者の支援を行っています。

いわき市の有機農業組織「農 Limit」は令和2年4月1日に設立され、現在稲作を営農の柱とした6名の会員で活動し、水稻有機栽培の視察研修や土作りの勉強会などを行い、会員相互の技術向上に努めています。

専業農家の会員はもちろん、農家レストランを営む会員、加工食品の販売を行う会員、勤めながら熱心に有機栽培に取り組む会員など、様々な業態の会員が在籍しているのも特徴です。

会長の安島美光さんは「組織名の農 Limit は、農業に限界はない、をもじって命名しました。有機農業は自然の力で作物を生産することと考えますが、その魅力を多くの人に広めていきたい」と話しています。

新しい、いわき地域の有機農業を応援していきます。



水田で会員と稲の栽培管理を確認
(令和2年8月18日撮影)



いわき農林事務所の普及指導員と稲の話を
する安島美光会長 (令和3年5月12日撮影)

《お知らせ》

「令和3年度環境にやさしい農業拡大推進事業」及び「令和3年度ふくしま有機農業ひとつ
くり強化支援事業（新規事業）」について

環境保全農業課

1 令和3年度環境にやさしい農業拡大推進事業

有機JAS認証の取得や生産安定・生産拡大に必要な施設・機械の導入を支援します。

(1) 有機JAS認証拡大推進事業

有機JAS認証の新規認証又は継続認証に要する費用を支援します。

- 【補助率】①新規認証は3/4以内 ②認証継続は1/2以内
③小分の新規認証は定額、施設整備1/2以内

(2) 環境にやさしい農産物供給体制の整備

農業者2戸以上で構成する組織等が有機農産物等の生産拡大や出荷安定化に向けて、共同
で利用する施設・機械を導入する経費を支援します。

- 【補助率】1/2以内(上限額 1,000万円)

2 令和3年度ふくしま有機農業ひとつくり強化支援事業（新規事業）

(令和3年度～令和5年度)

有機農業による就農者の確保及び就農支援活動、有機農業の実践的な研修体制の整備等を支
援します。

(1) チャレンジふくしま有機農業推進事業

有機農業の組織等が実施する有機農業の新たな担い手確保及び就農支援活動等に要する費
用を支援します。

- 【事業主体】有機農業者が構成する組織、市町村、団体等
【補助率】2/3以内(上限額 70万円)

(2) チャレンジふくしま有機農業就農研修支援事業

就農研修者を受入れる農家が、有機農業の実践的な研修を実施するために必要な整備及び
運営経費を支援します。

- 【事業主体】有機農業者が構成する組織及びこれに属する農業者、市町村、団体等
【補助率】2/3以内(上限額 100万円)

詳細については、下記の農林事務所等へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

県北農林事務所	: 024 - 521 - 2604	県中農林事務所	: 024 - 935 - 1307
県南農林事務所	: 0248 - 23 - 1555	会津農林事務所	: 0242 - 29 - 5302
南会津農林事務所	: 0241 - 62 - 5253	相双農林事務所	: 0244 - 26 - 1147
いわき農林事務所	: 0246 - 24 - 6160		

農業総合センター有機農業推進室：024 - 958 - 1711
農林水産部環境保全農業課：024 - 521 - 7453

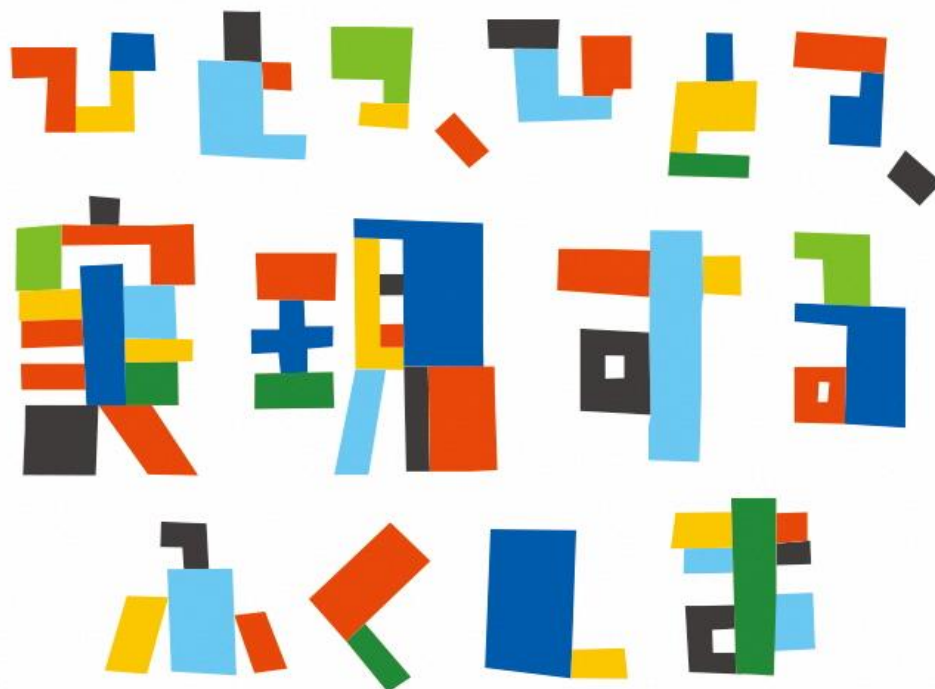
以下の URL より、令和3年度環境にやさしい農業拡大推進事業についてのホームページにアクセスできます。

(HP) <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/youki-keikaku-04.html>

(HP) <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/youki-hitodukuri-01.html>



こちらの QR コードからも、「令和3年度 環境にやさしい農業拡大推進事業」についてのホームページにアクセスできます。



福島県が策定した新たなスローガンです。

「ふくしまからはじめよう」から、「実現する」スローガンへと、福島県民の「復興」への思いを引き継ぎ、その思いを「カタチ」にしてまいります。